

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、生徒に行動の変容を促すために、高校生活の節目にそれまでの学びを振り返るポートフォリオについて検討する。

改良! 指導ツール

ビフォーアフター

「1年間の成長の軌跡」ポートフォリオアンケート（事前配付）

このアンケートでは、皆さんの年間の活動を振り返りつつ前向きに自分の活動を評価してください。

設問1【特別活動の記録①】学級活動

あなたが担当したクラスでの係を入力しなさい。（例）・教科係（現代文係等）・号令係

設問2【特別活動の記録②】生徒会活動

あなたが担当した生徒会関連の委員会を入力しなさい。（役職があればカッコを付けて記すこと）

（例）・生徒会会長 ・生徒会執行部 ・保健委員会（委員長） ・図書委員会 ・選挙管理委員会

設問3【特別活動の記録③】学級活動・生徒会活動

あなたが担当した学級や生徒会での活動について具体的に活動内容を入力しなさい。（文章にして書くこと）

設問4【特別活動の記録④】特別活動の成果

特別活動（設問1・2に関連する活動）を通して学んだこと、成長したと思うこと、特に意識したことや努力したことを入力しなさい。（文章にして書くこと）

設問5【特別活動の記録⑤】学校行事

あなたが特に熱心に取り組んだ、もしくは印象に残っている学校行事を入力しなさい。また、その学校行事を通して学んだこと、成長したと思うこと、特に意識したことや努力したことを入力しなさい。（文章にして書くこと）

設問6【学習についての自己評価①】

学習全般に対する取り組み状況、よかったこと、できたこと、もしくは前向きな今後の課題などを自己評価して入力しなさい。（100字程度の文章にして書くこと）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

設問7【学習についての自己評価②】

得意教科・科目に対する取り組み状況、よかったこと、できたこと、今後更に伸ばしていくための課題などを自己評価して入力しなさい。（100字程度の文章にして書くこと）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

設問8【学習についての自己評価③】

苦手教科・科目に対する取り組み状況、克服のために努力したこと、前向きな今後の課題などを自己評価

Before

秋田県立能代高校^{のしろ}

吉田英亮先生提供^{ひであき}

「ポートフォリオ」

課題

- 1 活動の振り返りが、これまでの学習で身につけてきたはずの資質・能力と結びついていなかった
- 2 その資質・能力を獲得した過程を、生徒に言語化させたい
- 3 その上で、今後取り組むべきことを考えさせるツールとしたい

検討メンバー



ツール提供者

秋田県立能代高校

吉田英亮

よしだ・ひであき



静岡県立下田高校

稲葉 涉

いなば・わたる



奈良県立
青翔中学校・高校

生田依子

いくた・よここ

自身の成長や課題についての生徒のメタ認知能力を高めたい

秋田県立能代高校では、授業や探究学習、行事などの活動において、生徒にポートフォリオを「Class」（*1）に蓄積させている。加えて、調査書の書式変更への対応を念頭に、学習や特別活動などの項目を網羅した「ポートフォリオアンケート（*2）」を1・2年次末に行い、学習や活動を整理する機会を設けている。

ただ、生徒は、志望理由書などで自分の成長を伝えられる内容を書ききれないのが現状だ。生徒が自身の成長や課題をメタ認知し、学びの質を高めるための振り返りとするためには、「ポートフォリオアンケート」の書式が現状のままでよいのか、アンケートの実施が学年末のみでよいか迷いがあった。

*1 株式会社ベネッセホールディングスとソフトバンク株式会社の合併会社であるClassi 株式会社 が提供する、学校教育での ICT 活用を総合的に支援するサービス。

*2 大阪府・私立高槻中学校・高校ご作成の同様のアンケートを参考に能代高校が作成。

2年生 2学期 ポートフォリオ

After



■ポートフォリオ

能代高校で身につけてほしい資質・能力

①学力・教養 ②思考力 ③提言力(課題発見力・課題解決力) ④質問力 ⑤協働力(コラボレーション力) ⑥自己管理能力(自律力) ⑦向上力 ⑧自己肯定力(自尊心)

上記8つの資質・能力を身につけた上で、さらに獲得してほしい2つの資質

①キャリアデザイン・キャリアマネジメント ②シチズンシップ

振り返りの参考となる資料

授業や行事の振り返りシート、探究学習の振り返りシート、部活動ノート

改良ポイント

1 学校が育成を目指す資質・能力と、振り返りに活用できる資料を示す

自分が身につけるべき資質・能力を意識して振り返りができるように、学校が育成を目指す資質・能力を明記。また、振り返りに活用できる資料も示して、様々な場面で書きためてきたポートフォリオを見返すように促す。

2 主体的に取り組んだ活動について、そのプロセスを振り返りながら自己評価させる

プロセスも含めて活動を振り返らせることで、活動前後の自分の変容をメタ認知させる。さらに、振り返りを踏まえて将来を考えさせ、次年度の展望を描かせる。

関連する指導ツール

- ▶ 2017年度2月号「志望理由シート」
- ▶ 2018年度10月号「学期リフレクションシート」
こちらもご活用ください

■教科学習

自分が主体的に学習に取り組んだ教科・科目	それを通じてできるようになったこと、成長したことは何ですか。上記の資質・能力を意識して書きましょう。	左記の資質・能力が高まった、成長したと思う根拠を書きましょう。

■探究学習

自分が主体的に取り組んだ内容	左記を通じてできるようになったこと、成長したことは何ですか。上記の資質・能力を意識して書きましょう。	左記の資質・能力が高まった、成長したと思う根拠を書きましょう。

■特別活動(学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動)

自分が主体的に取り組んだ活動	左記を通じてできるようになったこと、成長したことは何ですか。上記の資質・能力を意識して書きましょう。	左記の資質・能力が高まった、成長したと思う根拠を書きましょう。

振り返りの項目はほかに、「部活動、課外活動」「進路にかかわる課外活動」

◎上記の成長を踏まえて、自分が将来どのように生きたいのか、どのようにありたいのかを、理由も踏まえて書きましょう。

次ページでは、
3人の先生方の
検討の様子を
ダイジェストで紹介!

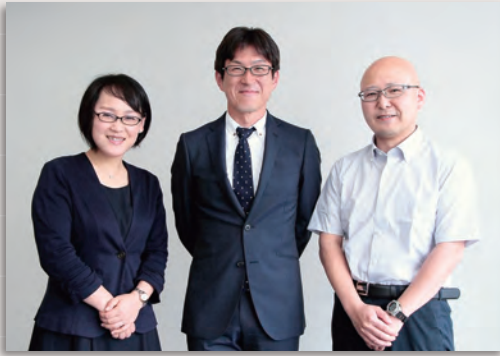
主体的に取り組んだ成果を
プロセスも踏まえて振り返る

今回のツールは、2年次の2学期での活用を想定。高校3年間の折り返し地点で何ができて、何ができていないのか、生徒に自身の成長を、プロセスを踏まえて言語化させることで、高校生活の後半で希望進路に向けて何をすべきか、自覚を促すツールに改良した。生徒のメタ認知能力を高めるため、記入する活動を自分で選べるようにした。ただ、改良前は、「宿題」といった学校が課したことも記入できたが、改良後は「主体的に取り組んだこと」とハードルを設けた。また、シートの上部には、振り返り時に意識できるように、学校が育成を目指す資質・能力を示し、経験を漏れなく掘り起こせるよう、振り返りの参考となる資料も提示した。



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

2年生 2学期 ポートフォリオ



活用の流れ

- 1 生徒各自に
これまで書いた振り返りシート、
ポートフォリオなどを持ち寄らせる
- 2 生徒にシートを配布し、記入させる。
必要に応じて、
生徒間で相互評価を行う
- 3 生徒が記入した内容を担任が確認。
面談指導などで、
今後に向けたアドバイスを

成長のプロセスの言語化が、
自信と今後の行動につながる

まず議論したのは、ツールの役割だ。各活動のポートフォリオは既にあるため、総合的な振り返りが必要な時期を話し合った結果、3年生0学期の志望校決定に向けて学びを整理させようと、2年生2学期での活用を想定。さらに、大学入試のためだけでなく、生徒が自身の成長をメタ認知するためのポートフォリオであることを踏まえ、活動の前後での成長とそのプロセスを言語化する書式とした。そして、自身の成長と将来を結びつけて考える項目を入れた。記入する活動については、自発的にかかわった事柄について考えさせたい

と、「自分が主体的に取り組んだこと」に表現を改めた。書くことが少ない生徒がいても、進級前に志望を考えるための材料が乏しいことへの危機感を促した方がよいという認識で一致した。そして、資質・能力の成長を可視化できるよう、学校が育成を目指す資質・能力、または学力の3要素を示すこととした。ツールの活用については、教師との面談、生徒間での相互評価など、他者評価を取り入れる必要性が提案された。3年生での担任もこのツールによって生徒の学習履歴や希望進路が把握でき、指導しやすいといった声も上がった。このツールを機に、プロセス評価の重要性を理解し、評価観の意識転換が図ればといった期待も寄せられた。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

プロセス重視の指導にもつなげたい

秋田県立能代高校 吉田英亮 よしだ・ひであき



本校では、2年次11月の探究学習が一段落した時にシートを記入させたいと思います。1年半の自己の成長を認識させた上で、将来について掘り下げて考えさせ、面談ではこのシートを基に自己評価と教師による評価の結果との違いを伝え、3年生ですべきことを言語化させます。自己評価という具体的な材料があるので、担任も生徒が今後取り組むべきことを指摘しやすいはずです。また、生徒が身につけたと考えている資質・能力を記入することで、学校教育目標の到達度も可視化できるでしょう。さらに、シートの記入に向けて、授業や行事などの日々の振り返りの徹底を図っていきます。探究学習の指導では、先生方にプロセスの重要性を伝えてきました。このシートを評価の核とすることで、指導はよりプロセスを意識したものとなるはずです。その考え方が浸透したら、育成を目指す資質・能力のルーブリックを作成したいと考えています。活動と資質・能力の結びつきを教師や生徒に意識させ、活動の質を高めていきたいです。

吉田先生プロフィール 教職歴20年。同校に赴任して14年目。進路指導主事。探究活動推進委員長。「生徒に良質な『対話』と『出会い』を」学校プロフィール 全日制/普通科・理数科/共学/1学年約2300人/2019年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、北海道教育大、弘前大、東北大、秋田大などに67人が合格。私立大は、東北学院大、青山学院大、東海大、東京理科大などに延べ182人が合格。

振り返りを基に、思考を深めさせる問いかけを

静岡県立下田高校 稲葉 渉 いなば・わたる



3年生進級時までには志望校を決めるとなると、2年生2学期は重要な時期です。その時期は、自身の将来に向き合い切れていない生徒もまだいますから、このシートの記入を通して自分の学びを整理させ、自分が主体的に取り組んだことと志望校で学べることに食い違いがないかを、3年生になる前に考えさせます。志望校のアドミッション・ポリシーとも関連づけて振り返りをさせれば、大学入学後の学びがより有意義なものになるはずですが、振り返りには材料が必要です。入学後、生徒にこのシートを配布し、1年半後に記入できる経験や気づきがあるように高校生活を送ることが重要だと説明し、日頃の振り返りの必要性を認識させることにつなげたいです。

シートの活用では、生徒に深い思考を促す問いかけを、教師がいかにできるかが重要です。成長につながる経験をしていても、生徒が気づいていないこともあるからです。ポートフォリオの活用においては、教師のコーチングの役割が一層重要になるでしょう。

稲葉先生プロフィール 教職歴24年。同校に赴任して2年目。進路指導主事。地理歴史・公民科。「生徒や学校を、地域など様々なものとつなぎながら、生徒の確かな成長を実現させたい」

学校プロフィール 全日制/普通科・理数科/共学/1学年約210人/2019年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、千葉大、横浜国立大、静岡大、奈良女子大、広島大などに45人が合格。私立大は、法政大、明治大、早稲田大などに延べ218人が合格。

プロセスを評価し、努力する姿勢を育む

奈良県立青翔中学校・高校 生田依子 いくた・よりこ



高校で理数科のみの本校では、SSHの指定校として中学3年次〜高校3年次に探究学習を行っています。ノートに活動を記録させ、自身の成長を振り返らせていますが、今回の先生方との議論を通して、プロセス評価の重要性を改めて認識しました。研究や試験の結果が思うようにならなくても、諦めずに粘り強く頑張る生徒を育てるため、努力の過程を評価していきたいです。

シートの活用時には、「教科学習」「探究学習」を中心に、学力の3要素に照らし合わせた振り返りをさせたいと思います。自身の学習と志望校を結びつけて、希望進路実現への努力の過程を言語化させるのです。2年次12月の三者面談で、生徒が根拠を持って自分の志望を保護者に伝えれば、保護者の進路に対する理解も深まるでしょう。

自分では感じていなくても、周りが成長を認めている場合もあります。生徒同士の指摘の方が心に響くこともあるので、グループでシートを見せ合って相互評価を行うと、生徒の様々な気づきにつながりそうです。

生田先生プロフィール 教職歴14年。同校に赴任して11年目。中学校副統括。進路指導部副部長。理科(生物)。「夢は必ずかなう。志を高く持ち、挑戦し続けられ」

学校プロフィール 全日制/理数科/共学/1学年約40人/2019年度入試合格実績(現役のみ)/国公立大は、山形大、三重大、滋賀大、岡山大、高知大、大分大などに8人が合格。私立大は、中央大、関西大、近畿大、関西学院大などに延べ70人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ピフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材を検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①〜④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認ください

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ピフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時〜21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。